公益社団法人高知県森と緑の会　発行　　２０２６年１０月１日

森と緑の会だより

秋号
2026



【表紙写真】

フォレストファンクラブツアー
春の春分峠を歩こう

フォレストファンクラブは高知の森林の魅力や大切さを広く発信し、森林への関心と知識を深め、郷土愛の醸成や会員間の交流を図ることを目的に、昨年９月に発足しました。会員対象のツアーを年に数回実施しています。
５月９日（土）、春分峠を起点に、アカガシや天然ヒノキ、ヒメシャラなどの巨木や植物に出会える、新緑の心地よい森を歩きました。春の森は、たくさんの落ち葉で足下がふかふかでした。

トピックス

第 78 回全国植樹祭の開催に向けて

～大会テーマ･シンボルマークも決定～

令和 10 年の春季に、高知県立春野総合運動公園において半世紀ぶりに全国植樹祭が開催されます。令和 7 年 9 月 5 日に、第 78 回全国植樹祭高知県実行委員会（会長 高知県知事 濵田省司）が設立され、開催準備が本格的にスタートしました。

大会テーマ、シンボルマークが決定

大会テーマは、全国から応募があった 1,51 0 点の作品の中から、沼田慎也（ぬまたしんや）さん（東京都在住※応募時）の「黒潮に 恵み届ける森づくり」が選ばれました。

【選定理由】

高知県民が身近に感じる「黒潮（くろしお）」が、雄大な広がりと受け継がれていく自然の姿をイメージさせ、森・里・川・海を通じて恵みが巡る関係性を想起させる。こうした循環の根幹をなす豊かな森づくりの重要性が示され、本大会の開催理念を表現した作品となっている。

シンボルマークは、全国から応募があった 345 点の作品の中から、秀野明理（しゅうのあかり）さん（兵庫県在住※応募時）の作品が選ばれました。

【選定理由】

中央に高知県のイメージキャラクターであるくろしおくんを配置し、その背景に沈下橋やゆずを描くことで高知県らしさを表現している。また、森・里・川・海のつながりと植樹の場面により、自然の恵みの循環を想起させ、開催理念を表現した作品となっている。



サテライト会場が決定

式典当日、より多くの県民の方と豊かな森林を守り育て次世代へ引継いでいく理念を共有し、全国植樹祭を身近に感じてもらうことで開催効果を高めるため、メイン会場（春野総合運動公園体育館）のほかにサテライト会場を設置します。今大会では、安芸市役所（東部）、イオンモール高知（中部）、梼原町役場（西部）がサテライト会場に決定しました。

お手植え、お手播きの樹種が決定

式典では、天皇皇后両陛下が本県ならではの樹種をお手植え、お手播きされます。お手植えされた記念樹は、全国植樹祭の開催を記念し、県土を育む豊かな森林づくりのシンボルとして大切に管理、育成していきます。

お手植え樹種

天皇陛下（3 種）

スギ（魚梁瀬(やなせ)杉）



高知県の県木。昭和 53 年の第 29 回全国植樹祭で昭和天皇がお手播きされた樹種です。

クヌギ



高知県の里山林を構成する代表的な樹種で、しいたけの原木として利用されます。

ウバメガシ



高知県が生産量日本一である備長炭の原材料です。潮風に強く県内の海岸沿いに広く自生しています。

皇后陛下（3 種）

ヒノキ（少花粉）



古くから「土佐ヒノキ」などと呼ばれ芯の鮮やかな赤みと強い香り、高い耐久性が特徴です。

ヤマモモ



高知県の県花。第 29 回全国植樹祭で昭和天皇がお手植えされた樹種です。

ミツマタ



国内三大和紙と呼ばれる土佐和紙の原材料の一つ。古くから高知県の山間部で生産されています。

お手播き樹種

天皇陛下（2 種）

ヒノキ（少花粉）



高知県の林業における主要な樹種です。県内の人工林のおよそ 6 割を占めています。

ビロードムラサキ



牧野富太郎博士が新種として命名。著書で「土佐の誇り」と記しており、学名に「高知」が含まれる唯一の種です。

（写真：高知県立牧野植物園提供）

皇后陛下（2 種）

スギ（少花粉）



第 29 回全国植樹祭で昭和天皇がお手播きされた樹種です。

トサミズキ



高知県の固有種・高知市の花。第 29 回全国植樹祭で昭和天皇がお手播きされた樹種です。（写真：高知県立牧野植物園提供）

関連事業の実施

第 78 回全国植樹祭の開催理念を広め、森林環境保全や木材利用の必要性について、県民の皆様に広く啓発するために様々な記念事業が計画されています。

その一つとして、苗木のスクールステイの取り組みがスタートしました。これは、全国植樹祭や関連する植樹行事で使用する苗木を、県内の保育所、幼稚園、小中学校、緑の少年団などの協力により育成するというものです。令和 7 年度は、30 団体の皆さんが参加してくれました。今年度も昨年同様に 30 団体程度の参加団体を募集しています。



〇シンボルマーク・ロゴマークを活用してみませんか

シンボルマークなどは植樹祭の開催趣旨にご賛同いただける皆様に無料でお使いいただけます。

第78回 黒潮に 恵み届ける 森づくり 全国植樹祭こうち 2028

〇応援事業～みんなで、もりあげ～

第 78 回全国植樹祭を、皆さんが関係するイベントと一緒に「もりあげ」ませんか？応援事業には、ノベルティの配布など複数の特典あり！詳しくはＨＰをご覧ください。

イベント情報や開催に向けた準備の様子などを UP しています！
ぜひフォローしてください♪

第 78 回全国植樹祭の開催に向けて

当会は、式典会場である高知市の桑名市長とともに副会長として第 78 回全国植樹祭高知県実行委員会に参画し、大会開催に向けて主要な役割を担っています。

これまで培ってきた関係機関や団体等との連携協力のもと、緑の少年団の育成強化をはじめ、森林の整備や緑化の推進、森林環境教育、森林ボランティアの活動支援など幅広い事業を引き続き実施し、大会機運を大いに高めていくこととしています。

三嶺の森をまもるみんなの会の取り組み

緑の募金公募事業

香美市物部町にある剣山系三嶺の森は、高知県でも貴重な自然林で、ブナやツツジなど奥物部の自然を楽しめる場所として親しまれてきました。しかし、近年はシカの食害によりササや樹木、希少植物などが深刻な被害を受けています。この状況を放置しておけば貴重な自然植生が失われるだけでなく、山林崩壊や土砂流出、濁水被害が発生する危険性が高まることから、「三嶺の森をまもるみんなの会」は 2007 年からシカの食害防止のための防鹿柵の設置などを継続して行っています。毎年春と秋に行うボランティア活動に団体関係者や一般の県民など、これまでにのべ約 4,300 人が参加しています。

令和８年度緑の募金公募事業による植生の保護活動

7 月 25 日（土）に三嶺の森をまもるみんなの会と高知中部森林管理署の主催で、さおりが原周辺のラス巻き（樹木ガード）のメンテナンス作業を行いました。参加した 68 名が 4 班に分かれ、樹木の成長により窮屈になったラスの継ぎ足し 72 本、経年劣化した結束バンドの補強 130 本、外れたラスなどの巻き直し 57 本、外れたラスや枯れ木のラスの回収 28 本、新たなラスの設置 7 本、計 294 本の作業を行いました。

作業中には倒木により壊れた柵を発見し、応急措置を行いました。シカが入れるようになった柵の中のササの被害は顕著で、定期的な見回りやメンテナンスなど、毎年の地道な保護活動の取り組みにより森林が再生していることを実感しました。



今後の樹木の成長を考え、十分な余裕を持たせてラスを巻きます。

今回の活動により、ラスの機能を維持し、引き続きシカの被害から樹木を守り、森林が再生する効果が期待できます。また、参加者にとってはシカ被害の現状や保護活動の必要性とその効果などを学ぶ貴重な機会となりました。



約 15 年前に設置した柵の中で再生したマネキグサや、稚樹を囲ったことで成長した樹木を観察しました。

令和９年度緑の募金公募事業 募集のご案内

緑の募金を原資とした交付金で、森林整備や緑化推進に関するボランティア活動を支援しています。

募集期間：令和 8 年 10 月 15 日から 11 月 30 日

事業期間：令和 9 年 4 月 1 日から令和 10 年 3 月 23 日

※詳しくは、当会ホームページのトップページ「お知らせ」の告知をご覧ください。

こうち山の日推進事業

森林保全ボランティア団体活動支援事業

高知県の森林環境税を活用した補助事業

森づくり活動を行うボランティア団体など「こうち山の日ボランティアネットワーク」の加入団体を対象とした事業です。県民が森にふれ、森林保全活動に参加する機会を提供するため、幅広く県民の参加を募って行う森林保全ボランティア活動を支援しています。

森の応援団・さんりん倶楽部の取り組み

森の応援団・さんりん倶楽部は、(一社)高知県山林協会の役職員で構成する森林保全ボランティア団体です。

5 月 30 日（土）、高知市春野の県立障害者スポーツセンターのテニスコートに隣接する竹林で整備活動を行い、17 人が参加しました。

テニスコート周辺で支障となっていた竹や雑草を伐採し、見通しの良い安全な空間を確保することができました。また、活動を通じて参加者同士の交流も深まり、親睦を図る機会となりました。

本倶楽部の活動は年２回実施しており、次回は 11 月に県立甫喜ケ峰森林公園で予定しています。





こうち山の日ボランティアネットワークに加入しませんか？

加入団体同士の情報交換に加え、県民の参加を募って実施する森林保全ボランティア活動では、補助金を活用することができます。

事前準備や当日の賃金、消耗品費、保険料、使用料などの活動に必要な経費のほか、参加者が使用する保護具の購入費が対象となります。

加入については、当会事務局にお気軽にお問い合わせください。

10 月以降のイベント開催予定

普及啓発活動支援事業

（※植樹活動支援事業）

今年も県内各地で山や木に親しむイベントが行われています。

イベント名	開催日	開催地（市町村）
森に親しむ	10/17（土）、11/21（土）、12/11（金）	四万十町
里山整備＆親子自然体験推進事業	10/11(日)、1/10（日）	高知市
セラピーロード体験とカルスト台地を学ぼう！	11/1（日）	津野町
ネイチャーゲーム・ネイチャークラフト教室	11/3（火・祝）、12/5（土）、12/19（土）、12/26（土）	香美市・本山町・南国市
幡多山もりフェス 2026	11/7（土）	宿毛市
2026 ふなと四万十川源流点ウォーキング	11/7（土）	津野町
甫喜ヶ峰フェスティバル 2026	11/8（日）	香美市
ネイチャーゲーム・ネイチャークラフト教室	11/8（日）、11/15（日）、11/21（土）	香美市・高知市
大月の製炭学習と里山への植栽活動	11/11（水）	大月町
畑を肥やす「竹やぶからの贈り物」	11/27(金)	いの町
どんぐり植樹祭（※植樹活動支援事業）	12/6（日）	仁淀川町
mini Trail Jamboree in 甫喜ヶ峰 2026	12/13（日）	香美市

※イベントの詳細はホームページ、SNS で告知します。

山の学習支援事業（宿泊型学習支援事業）　高知県の森林環境税を活用した補助事業

高知県の森林環境税を活用し、高知県の豊かな森林環境について学び、体験する自然体験型学習を支援しています。令和７年度は９団体が実施しました。

実施団体の一つである、生活支援事業や子ども教室などを通じて地域福祉活動に取り組む「地域の応援隊 和」の活動について紹介します。

森林学習と自然体験を通して生きる力を育む宿泊活動

令和７年９月 27 日（土）から 28 日（日）の１泊２日、津野町白石の体験交流施設承葉塾と小草山周辺で「なごみ わくわくチャレンジキャンプ」を開催しました。小学生 18 人が参加し、森林の働きへの理解を深めながら、自然の中で様々なプログラムに取り組みました。

１日目は、自然と向き合う心構えについての講話を受け、山の木々が暮らしに果たす役割について理解を深めました。続いて、野山で出会う危険な動物や植物をテーマに、遭遇時の注意点や見分け方をクイズ形式で楽しく学びました。



ヒノキのカスタネット



薪割り体験

木工クラフトではヒノキを素材にしてカスタネットづくりに挑戦しました。ドリルなどの工具を使って形を整え、絵付けや飾り付けを行い、一人ひとりの素敵なオリジナリティが光る作品に仕上がりました。

その後は、斧や金槌を使った薪割り、火おこしを体験し、協力しながら野外炊飯を行って、自然の中で味わう夕食を楽しみました。その晩は、自分たちではったテントの中で会話を楽しみながら就寝しました。

２日目は、班ごとにテーマを決め、大きな黒いシートの上に、子どもたちが集めた落ち葉や草花を並べて、アート作品を作りました。完成後は、それぞれの作品の工夫やこだわりを発表し、その様子を写真に収めました。作品づくりを通して、身近にありながら普段は見過ごしている植物などを発見することができました。

最後は竹を使ったバームクーヘンづくりを行いました。竹の種類や特徴、熱による破裂を防ぐための穴あけなど、竹を扱う際のポイントも学びました。

２日間の活動を通して、子どもたちは自然の豊かさを体感し、故郷の魅力を再認識することができました。また、仲間と力を合わせて活動する中で互いに協力し助け合うことの大切さを学び、生きる力を育む貴重な機会にもなりました。





野外で集めた落ち葉や草花を使って、一つのアート作品をつくりました。

高知県森と緑の会　正会員・賛助会員をご紹介

※敬称略・順不同（令和８年 10 月１日現在）

【正会員】

高知県
34 市町村
23 森林組合
高知県森林組合連合会
農林中央金庫高松支店
(一社)高知県木材協会
(一社)高知県山林協会
高知県農業協同組合中央会
高知県種苗緑化協同組合
高知市再生資源処理協同組合
安芸建設協会
高陵地区建設協会
株式会社四国銀行
株式会社高知銀行
株式会社高知新聞

【賛助会員】

安芸猟友会
中芸猟友会
香美猟友会
いの地区猟友会
佐川中央猟友会
須崎地区猟友会
土佐清水地区猟友会
宿毛地区建設協会
嶺北林材協同組合
協同組合木星会
仁淀川漁業協同組合
有限会社エスエス
有限会社香北観光
株式会社海昌
株式会社とされいほく
とおわ守人企業組合
(一社)高知県建設業協会
高知県建設業協会室戸支部
高知県建設業協会嶺北支部
高知県建設業協会南国支部
高知県建設業協会伊野支部
高知県建設業協会高吾北支部
高知県建設業協会高幡支部
高知県建設業協会中村支部
高知県林業改良普及協会
協同組合高知県木材市場連盟
高知県木材産業協同組合連合会
高知県素材生産業協同組合連合会
仁淀流域素材生産業協同組合
こうち生活協同組合
生活協同組合コープ自然派しこく
医療法人恕泉会　内田脳神経外科
医療法人産鈴会　田村産婦人科
(一社)高知県森林整備公社
(一社)高知県森林土木協会
(一社)四国林業土木協会
(一社)日本樹木医会高知県支部
株式会社島田屋
鈴木建設株式会社
株式会社南国緑地建設
株式会社響建設
株式会社エヌ・シー・ビー
有限会社福井フラワーガーデン
株式会社林釣漁具製作所
ガーデン＆エクステリアｅｎ
中土佐ライオンズクラブ
はりまやハーバークラブ
有限会社太平洋マリン

鍋島　浩
臼井　裕昭
土居　稔
坂本　彰
受田　浩之
大野　靖紀
野口　朗子
岩村　俊夫
門田　数子
谷口　喜美
西内　章子
福田　誠
吉田　日和
高橋　隆
松本　美香
道原　大貴
野島　幸一郎
安並　真璃子
宮崎　聖
平子　真治
市栄　智明
西澤　窈子
川村　貞夫
喜多　優希
北　　泰子
山本　速水
石川　明美
大﨑　吉晃
島本　和加
吉田　富紀
久保　ゆう子
神田　貴成
尾木　浩子
西内　健※
溝渕　健夫※
三石　文隆※
加藤　漠※
弘田　兼一※
土森　正典※
浜田　英宏※
依光　晃一郎※
桑名　龍吾※
中西　哲※
萩野　義和※
(※名誉会員)

賛助会員を募集しています！

森林の大切さを伝え、一人ひとりが森林保全に参加する「森づくりの輪」を広げるために、当会の活動をご支援いただける賛助会員を募集しています。

【年会費】
個人　３，０００円目安
団体１０，０００円目安

豊かな森林を未来に引き継ぐために、
わたしたちの活動をご支援ください。

※当会は特定公益増進法人に該当します。賛助会費や緑の募金は、特定寄附金として税制上の優遇装置が受けられます。

SNS で事務局の活動やイベントの告知などを発信しています。是非ともご覧ください。

フォロー
よろしく！



秋の「緑の募金」キャンペーン

毎年９/１～10/31 は
秋の緑の募金期間です。

「緑の募金」にご協力をお願いします！





●緑の募金箱

高知県内の量販店、ホームセンター、金融機関、道の駅、体験施設等のご協力をいただき、「緑の募金箱」を常設しています。新たに募金箱を設置していただけるところも募集しています。

募金箱を見かけたら、ご協力ください！

●つながる募金

PayPay で募金が簡単にできます！

右の QR コードを読み取ってみてね

●緑の募金グッズ

一定額以上の緑の募金でご希望の方にオリジナルグッズをプレゼント！

木製バッジ（9 種類）	： 500 円以上
マルシェバッグ（2 種類）	：1,000 円以上
ランチバッグ（4 種類）	：1,000 円以上
山歩き手拭い（3 種類）	：2,000 円以上

※詳しくは、当会ホームページの「緑の募金グッズのご案内」ページをご覧ください。

四万十町立東又小学校 みどりの奨励賞で優良賞

当会では、次代の森林づくりを担う緑の少年団を育成するための活動の輪を広げています。その一環で、令和８年３月１日に開催した高知県緑の少年団活動発表大会で最優秀賞を受賞した四万十町立東又小学校を（公社）国土緑化推進機構が主催する「緑の奨励賞」に推薦し、みごと「優良賞」に輝きました。



“フォレストファンクラブ”ツアーのご案内

巨木が守る神秘の森 横倉山を歩こう！

牧野富太郎博士の研究の舞台でもあった横倉山は、アカガシやウラジロガシなどの巨木や豊かな土壌が生み出すさまざまな植物に出会えます。仁淀川や周囲の山々を見渡せる眺望所や杉原神社境内の巨杉など、見どころ満載です！



【実施日】11 月 28 日（土）会員募集中！

お申し込みなど詳しくは、当会 HP イベント情報をご覧ください。
URL https://www.moritomidori.com/event/

発行

公益社団法人高知県森と緑の会
〒781-8010 高知市桟橋通 6-7-43 総合保健協会合同庁舎 5 階
電話番号 088-855-3905　FAX 番号 088-855-3906
E-mail ： info@moritomidori.com　URL : www.moritomidori.com

ホームページでイベント情報などを随時お知らせします ＞